

令和 2 年度 北海道 AT ガイド認証制度検討事業 検討概要

1 事業概要

(1) 目的

アクティビティを楽しむ AT 顧客の安全・安心の確保及び道内のアウトドアガイドの地位確立のため、AT 顧客に対応するガイドの能力を対外的に証明できる認証制度の検討を進める。

(2) 受託者

北海道 AT ガイド認証制度検討事業受託コンソーシアム（電通北海道、北海道体験観光推進協議会）

(3) 検討手法

- ・ 有識者へのヒアリング、北海道アウトドア資格制度推進会議における検討

2 制度検討概況

(1) アウトドアガイドの AT 対応に必要な能力及び基準

能力：ATTA が定める 5 つの中核的能力

基準：下記のとおり、能力ごとに基準を設定

ア 技術的能力（認定方法：試験等）

各アクティビティ分野における能力基準について、資格制度審査会において検討し決定

例)山岳ガイド…現行制度：日帰りを想定 → AT：2-3 泊を想定、

自然ガイド…現行制度：平場 → AT：ロープを使わない山岳も含む

イ リスクマネジメント（認定方法：外部資格取得）

Wilderness Advanced First Aid 資格の取得

ウ 顧客マネジメント（認定方法：試験等）

上記リスクマネジメントを英語で行える能力（認定方法は要検討）

エ 文化歴史（認定方法：外部資格取得）

道民カレッジ『ほっかいどう学』の履修 ⇒ 試験合格者

オ 持続可能性（認定方法：自己申請）

SDG s の 17 の目標から任意の目標複数を選択し、具体的に目標設定

活動レポートの提出(年 2 回程度)

(2) 認定及び更新方法

ア 認定方法

- 上記の能力について、必要な資格等の取得証明を添えて申請を受けて認定
- 認定申請の前段として、必要な能力を身につける為に道の研修事業受講を推奨

イ 更新方法

- 資格期限は単年 → 毎年更新が必要
- 更新時は活動実績レポート（内容は検討中）を添えて申請

3 現行知事認定北海道アウトドア資格制度への AT ガイド制度導入に係る懸念点

(1) 資格取得インセンティブ

- 資格取得・更新には相応のコストが掛かり、『知事認定 AT ガイド』というだけではインセンティブとして不十分
 - ※ 現行資格においては①『知事認定』という権威付け②優良事業者の顧客無償送迎可能、以上 2 点のみがインセンティブとなっている。
- AT 商品は高単価(高収益)といっても、アウトドアガイドの取り分が増えなければインセンティブにはならない

(2) 新たな技術基準を設けることに対する現行有資格ガイド+資格外ガイド双方からのハレーション

- ガイドの能力を認定する基準を新たに設けることについては、相当のハレーションがあることが想定される。

(3) AT の市場性

- AT の主たる顧客は欧米豪であり、日本市場はほぼ未開拓
- 現下のコロナ影響下においては、海外顧客の来道及び日本市場の開拓の見通しは困難

4 制度導入に係る対応方針

ATWS2021 の開催結果及びコロナの状況を踏まえた上で、上記懸念点に対応した形で導入すべき